

RTC Builder - バグ #4014

include/****/CMakeLists.txtのPARENT_SCOPEオプション

2017/04/09 19:10 - n-miyamoto

ステータス: 終了	開始日: 2017/04/09
優先度: 通常	期日:
担当者:	進捗率: 100%
カテゴリ:	予定工数: 0.00時間
対象バージョン:	

説明

RTC
Builderで生成したRTCのソースコードで、include/****(****はモジュール名)内のCMakeLists.txtについて、setコマンド内のPARENT_SCOPEオプションが無くなっている。

- 以前のバージョン

```
set(hdrs ****.h
    PARENT_SCOPE
)
```

- 現在

```
set(hdrs ****.h
)
```

VC++プロジェクトを生成した際にプロジェクトにincludeファイルが含まれていないため、Visual Studioで開いたときにincludeファイルが表示されない。

- 以前のバージョン

RTCB1.png

- 現在

RTCB2.png

関係しているリビジョン

リビジョン 727 - 2017/04/10 17:10 - kawauchi

[compat,bugfix,->RELEASE_1_2_0] Fixed r680. #4014

履歴

#1 - 2017/04/10 02:22 - ga

[#2569](#) 修正時に変更した部分となります。

#2 - 2017/04/10 17:32 - n.kawauchi

- ステータスを *新規* から *解決* に変更

- 進捗率を 0 から 100 に変更

- r680で削除して頂いた「PARENT_SCOPE」の設定を復活させました
- この設定を削除したのは、2014年3月の下記確認作業を元に行っています。
[CMakeでのDEBRPMパッケージ作成手順](#)
- この当時はcpackで作成されるパッケージは「tar.Z, sh, tar.gz」でした。これ以降、大幅に設定を変更しています。
- 今回、ImageProcessingのImageCalibrationで動作を確認しました。
- PARENT_SCOPEの挿入位置が下記の2パターンで確認したところ、どちらでもOKでしたので(2)の方で修正しました

(1) ----
set(hdrs ImageCalibration.h

```
PARENT_SCOPE
CalibrationServiceSVC_impl.h
)
```

(2) ----

```
set(hdrs ImageCalibration.h
CalibrationServiceSVC_impl.h
PARENT_SCOPE
)
```

- 確認した動作
 - Windows
 - VisualStudioでのビルド (Header Filesが表示されている)
 - VisualStudioでのインストーラmsi作成
 - Linux
 - Ubuntu, Fedoraでのmake, cpackでのdeb/rpmパッケージ作成

#3 - 2017/08/30 14:24 - n-ando

- ステータスを 解決 から 終了 に変更

ファイル

RTCB1.png	3.95 KB	2017/04/09	n-miyamoto
RTCB2.png	3.71 KB	2017/04/09	n-miyamoto